

発掘！さいたま出土品展  展2019

ぐぐぐと！

じょうもん
縄文



ようこそ 縄文の迷宮へ

「おや、あれは貝塚じゃないか？」

車窓を通り過ぎていく風景をぼんやりとながめていたわたしは、線路わきの切通しの崖にいちめん真っ白なものが露出していることに気付いた。1878年6月19日の朝のことである。

わたしはE.S. モース。アメリカ人生物学者だ。明治政府の依頼で、西洋から開国間もない日本にやってきたわたしたち外国人教師を、彼らは「お雇い外国人」と呼んだ。

それは一瞬の出来事だったが、まぎれもなく日本に近代考古学の曙光が差した瞬間だった。

それからわずか3か月後、わたしは日本で初めてとなる科学的な発掘調査を開始することになる。

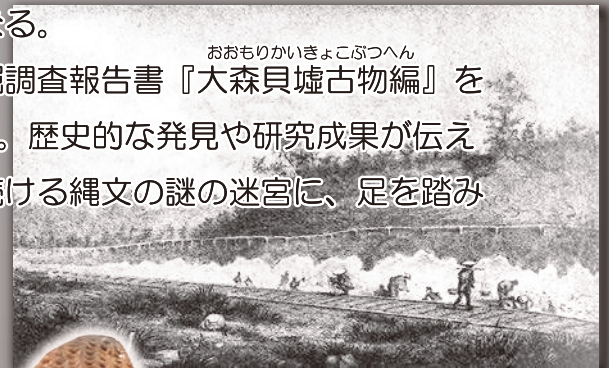
わたしが日本初の遺跡の発掘調査報告書『大森貝塚古物編』を発表してから、今年で140年。歴史的な発見や研究成果が伝えられる一方で、なおも深まり続ける縄文の謎の迷宮に、足を踏み入れてみよう。



E.S. モース
(1838～1925)



おおもりのかいぎよこぶつへん
『大森貝塚古物編』



おおもりのかいぎよこぶつへん
大森貝塚の発掘風景 (『大森貝塚古物編』より)



おけがわ すわの
桶川市諏訪野遺跡 深鉢

ほうじょう 豊穰なる世界



ふかや はらがやと
深谷市原ヶ谷戸遺跡
じんめんどばん
人面土版

観た瞬間に思わず頬がゆるんでしまうような、愛らしくこっけいな姿の遺物があります。

動物をかたどった土製品は、ムラをとりまく生態系を象徴的に表現したものでしょう。極端に小さく作られた土偶は、肌身離さず持ち歩くプライベートなお守りだったのかもしれませんが。

土器と人体が融合したような人面土器は、うつわに宿ると考えられた何者かが姿を見せたものでしょうか。

縄文人が作り出した、たくさんの「不思議ちゃん」たちは、彼らが心の中に抱いていた複雑で豊穰な世界観をあらわしているに違いありません。

じっと向き合っていると、私たちの遠い記憶の奥底から、何とも名付けようのない不思議な感情が沸き起こってくるようです。



はすだ うたや
蓮田市雅楽谷遺跡
小土偶



こうのす
鴻巣市赤城遺跡
人面土版

くき おばやしはっそく
久喜市小林八束1遺跡
小土偶



かぞ ながたけ
加須市長竹遺跡
犬型土製品



加須市長竹遺跡 人面注口土器



せいれい 人が精霊か

土偶は、数ある縄文時代の遺物の中でも最もミステリアスなもののひとつです。一応、人体を模したものとされていますが、その姿はいちじるしくデフォルメされ、ときに怪物じみた姿へと変容してさえいます。

ひとつには、同時代の土器の突起や文様が取り込まれてしまっていることが土偶のデザインを奇々怪々ききかいがいなものにしているものと考えられます。

ですから、土器と同様に土偶にもつくられた時代や地域を象徴する特徴的なデザインが存在しており、「ハート形土偶」「みみずく土偶」などのユニークな呼び名がつけられているのです。

あるいは、土偶とはもともと「人ならぬもの」、神や精霊のような人外の存在を表現したものであるのかもしれない。



久喜市小林八束1遺跡 土偶

閉じ込められた神話

縄文時代の人々は、自然界にあるものをそっくりに写すことを好まなかったようで、土器の文様も抽象的なものがほとんどです。

でも、中には何かの物語を描いたとしか思えないものも存在します。ものがたりせいもんよう「物語性文様」。数千年前に作られた土器から、どんな神話が読み取れるのでしょうか。



桶川市諏訪野遺跡 深鉢

- ①ここは縄文の森の中。シダみたいな植物の下に三つの卵。
- ②卵がかえ孵って、何かが飛び出てきた！大きな口に小さな眼。
- ③やがてムカデのような姿に成長して、森の中で遊んでいる。
- ④その姿を見た誰かさん、あわてふためき踊り出す。「うわあっ！びっくり。こいつは一体何者だ？」



満月？



三日月？

月の満ち欠けで時間の流れを表現したものだろうか。

「縄文」～逆転のコード

「コード マーク Cord Mark＝縄文」は、縄や燃り糸を粘土の表面にお押しつけながらよ転がしたものです。

「縄文土器」の名称の由来ともなったこの美しい文様がどのようにしてつけられたのかは、久しく謎とされていました。謎が解き明かされたのは、研究者の長い努力の積み重ねと、一瞬の偶然のいたずらによるものでした。

一方、この「反転のアート」＝縄文が、原始時代の日本でなぜこれほどまでに特異な発達を遂げたのかは、いまでも謎のままです。



極められた 機能美

はんのう なかやした
飯能市中矢下遺跡
いしやり
石槍

なかさんや
鴻巣市中三谷遺跡
ゆうぜつせんとうき
有舌尖頭器

よりいまち きたつかや
寄居町北塚屋遺跡 石鏃

おけがわ らくじょう
桶川市楽上遺跡 異形石器

しらおか せいざえもん せきぞく
白岡市清左衛門遺跡 石鏃

ろっかくぞく
加須市長竹遺跡 鹿角鏃

石を加工して道具とすることは、縄文時代より古く旧石器時代から行われていました。

縄文時代に入ると、その生業や行動様式の多様化に伴って、よりバリエーションに富んだ石の道具が作られるようになりました。

切る。突き刺す。削る。孔をあける。掘る。・・・
さらに、同じ「突き刺す」でも、手に持って突き刺す、投げる、弓を使ってさらに遠くに飛ばすなど。

無駄をそぎ落とし、「はたらき」そのものを具現化したようなその姿は、まさに「機能美」！

みやばやし きよくぶませいせきふ
深谷市宮林遺跡 局部磨製石斧

加須市長竹遺跡
小型磨製石斧

せきさじ
加須市長竹遺跡 石匙

加須市長竹遺跡 玉斧

かわごえ おいせはら
川越市御伊勢原遺跡
磨製石斧

破格の造形

加須市長竹遺跡 台付鉢



うつわとしての機能を制約するほどの巨大な突起。

雄大かつ自由奔放にデザインされた胴体と、それを支える小さな脚台。

丹念に磨き込まれ、まるで金属のような光沢を放つ注口土器。

赤と黒に塗り分けられた華麗な浅鉢形土器には、現代アートにも通じる美意識が息づいています。

ひだか しゅくひがし
目高市宿東遺跡
深鉢



機能主義・合理主義のしがらみをかなぐり捨て凛として立つ、まさに「破格」の造形。

今から数千年前の縄文時代、彼らはいったいどのような風景の中に置かれていたのでしょうか？

桶川市前原遺跡
深鉢



桶川市諏訪野遺跡
深鉢



鴻巣市中三谷遺跡
注口土器





さいたまけん まいそうぶんかざい ちょうさじぎょうだん (公財) 埼玉県埋蔵文化財調査事業団のお仕事

わたしたちは、公共工事などの開発によって失われてしまう埋蔵文化財を、資料のかたちで後世に残す「記録保存」と、その成果を県民にお伝えする「保存活用」その他の仕事をしています。

埋蔵文化財の発掘調査・
記録保存

埼玉県教育委員会から委
託された保存活用業務に
よる資料保存・普及事業

県内遺跡等埋蔵文化財の
調査研究

埋蔵文化財保護思想の
啓発と普及



遺跡の発掘調査



古代から教室へのメッセージ
(県内小中学校へ出張授業)



平成 30 年度に刊行された
研究紀要



ほるたま展
(昨年度の様子)

矢尾百貨店 3階催事場

令和元年8月1日(木)～8月5日(月)

八木橋百貨店 8階オープンギャラリー熊谷

令和元年8月29日(木)～9月2日(月)

ららぽーと富士見 1階屋内広場

令和元年10月3日(木)～10月6日(日)

モラージュ菖蒲 展示3階ブリッジ

令和元年10月25日(金)～10月29日(火)

そごう大宮店 3階連絡通路

令和元年11月7日(木)～11月10日(日)

さきたま史跡の博物館 企画展示室

令和元年12月7日(土)～令和2年2月9日(日)

主催 公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団

共催 埼玉県教育委員会・埼玉県立さきたま史跡の博物館

富士見市教育委員会・小鹿野町教育委員会

後援 秩父市教育委員会・熊谷市教育委員会・久喜市教育委員会

協賛 株式会社矢尾百貨店・三井不動産商業マネジメント株式会社

株式会社八木橋・そごう大宮店

協力 双日商業開発株式会社

令和元年8月1日発行

編集・発行：公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団

〒369-0108 埼玉県熊谷市船木台四丁目4番地1

TEL：0493-39-3955 URL：http://www.saimaibun.or.jp/

※展示資料は会場によって変更する場合があります